



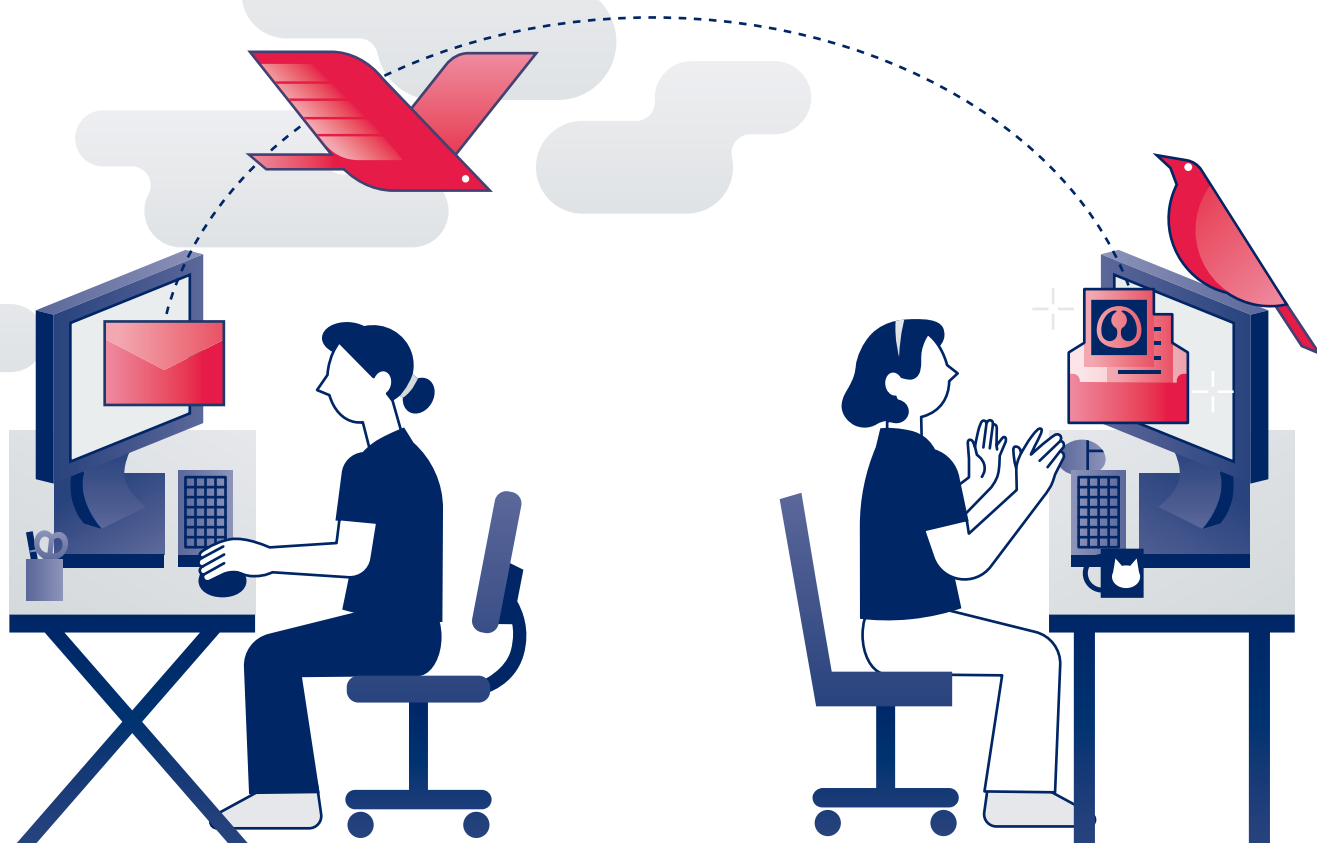
ファイアバード

Firebird

医療情報・画像クラウド交換サービス

 Array Corporation

「Firebird」とは インターネットを使って 医用画像や医療情報を他施設に 高速で安全に提供するサービスです。



Firebirdのメリット

CDやDVDなどの物理メディアを使わずに大容量データを送れるので、患者さんの待ち時間や管理の負担が減り、医療施設でのメディアの書き込みや読み取りの操作や消耗品の管理もなく、機器の保守も楽に。画像入出力の作業時間や待ち時間もぐっと短縮できます。

また、Firebirdは診療報酬「検査・画像情報提供加算」(送信側)「電子的診療情報評価料」(受信側)の算定要件に適合しています*。

*画像と検査結果の両方の提供が必要です。

患者さんの待ち時間や
管理の負担を軽減



消耗品の管理不要



画像入出力の作業時間や
待ち時間を短縮



Firebirdは安全です

インターネットを利用した通信で重要なのはセキュリティ。Firebirdはインターネットを安全に利用するためにさまざまな対策を取り入れています。たとえばクラウド上のFHIRリポジトリに送信・保管されるのは暗号化されたデータだけ。また、受信に必要な"トークン"は別のルート・方法で暗号化されて受信施設に送られます。万一通信経路やFHIRリポジトリが攻撃を受けても安全です。



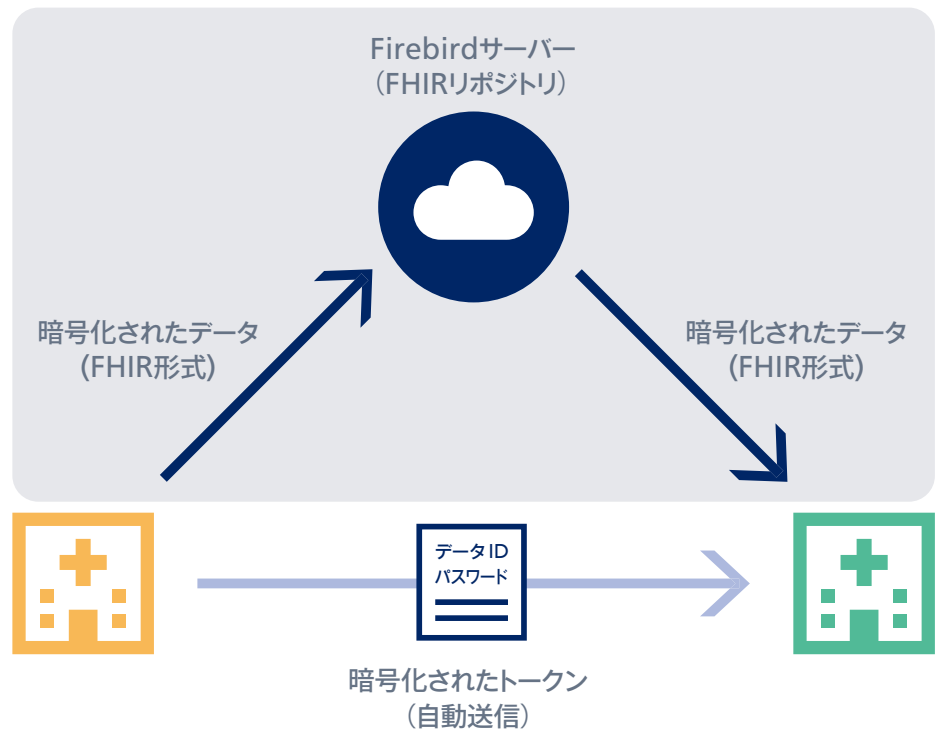
Firebirdは厚生労働省標準規格のcloudPDIのしくみを使ってデータを転送します。



医療情報トークン(ISO/TS 22691)によってデータIDとパスワードを伝えます。

Firebirdは標準を使っています

医療機関によってシステムもさまざま。医療機関どうしのスムーズな情報連携には、「標準」を利用することが決め手です。FirebirdはHL7 FHIR、DICOM、IHEなどの国際標準や厚生労働省標準規格のcloudPDIを利用してデータを送受信します。またFirebirdで利用している医療情報交換のためのトークンの仕様は、ISOによる国際標準化が進められ、ISO/TS 22691:2021として発行されています。



送信できる情報

検査画像



検査結果



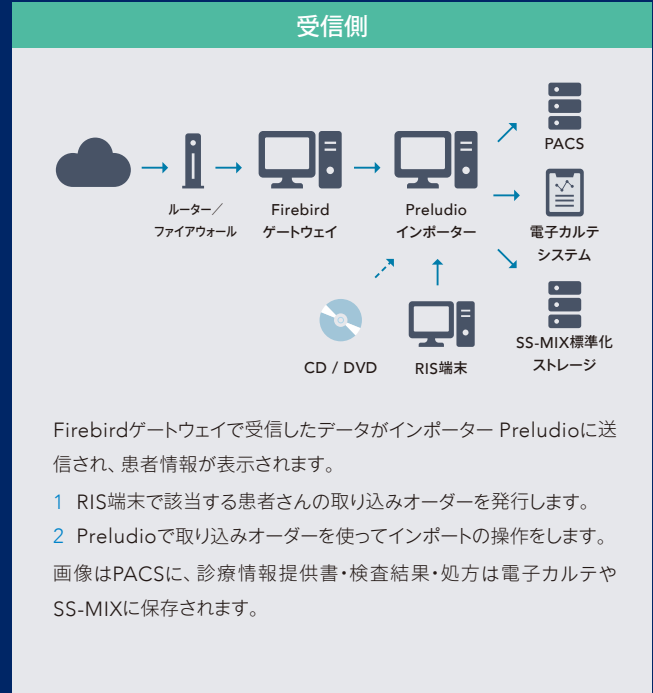
処方



退院時サマリー



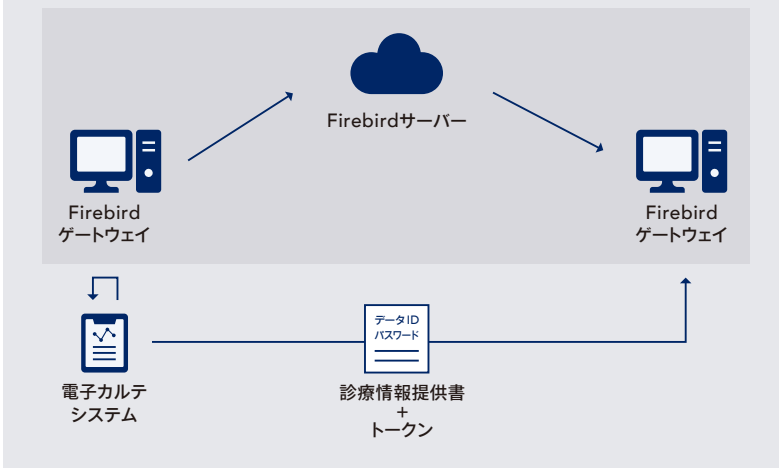
システム構成例



*院内システムがインターネットに接続できない場合はUSBメモリを使う構成も可能です。

こんな使い方!

トークンをQRコードとして診療情報提供書(電子・紙)に付けて画像を送ることもできます。



 **Array Corporation アレイ株式会社**

151-0053 東京都渋谷区代々木3-42-10
tel. 03-3320-3911 sales@array.co.jp www.array.co.jp

© 2023-2025 Array Corporation
Firebirdロゴ、Array Corporationロゴは、アレイ株式会社の商標です。
この資料に記載されている会社、製品、サービスの名称は一般に各社の商標または登録商標です。
この資料の記載内容は2025年4月現在のものです。
この資料に記載された内容、製品の仕様などは予告なく変更することがあります。

cn15010316

アレイ株式会社は情報セキュリティマネジメントシステム国際規格 ISO 27001/ISMS 認証を取得しています。



IS 754896 / ISO 27001
医療情報・画像クラウド
交換サービスの提供